

## 金曜コラム - 追悼詩 九つの小さな星に

## 金ジェリョン (詩人・華川高校教師)

2003年の春を記憶して2019年、十六回目の春。ある体育教師は謹んで読みます。

その年の春。春の雪が消え失せるように星になった子供たち。君たちを痛みも涙もないところに送ったあと。母と父、姉と兄、兄弟たちは君たちの名前を燃え上がる心のうちに、文に刻んだのだ。君たちのない世界を、毎日全身が崩れて止まらない涙の日々を生きてきたのだ。

また迎えた十六回目の春。ここで生き残った者たちが集まって君たちの名前を呼ぶ。ありがとう。幸いである。申し訳ない。しかし、何故か涙が溢れ出る。私達もとても大変だったのだ。そうだったのだ。やっ

と告白する。これまで仰いできたのが君たちの名前ではなく、虚しい欲望であったことを。多くの日々を懺悔し、贖罪の日々を生きたことを。怒りと悲しみに捕らわれた悲しい人間として生きてきたことを。自分自身に止まらない涙の罰を与えたことを。

星になった子供たちよ。君たちがいない世界。数え切れないほどの季節が空しく過ぎたあいだ。君たちは何時でも何処でも蘇る。網にかかる風のように。広場を覆うロウソクになって。長い日々を君たちが訪れ、輝やかせてくれたね。九つ。小さな星たちよ。やっ

と静かに君たちの名前を呼んでみる。星一つ、名前に君たちの笑い。星二つ、名前に君たちの涙。星三つ、名前に君たちの息吹。星四つ、名前に君たちの汗の臭い。ああ、子供たちよ。

星五つ、名前に君たちの不平。星六つ、名前に君たちのおしゃべり。星七つ、名前に君たちのバラ色に染まったボール。星八つ、名前にお母さんお父さんの首筋に巻かれてきた君たちの優しくて柔らかい手。ああ、子供たちよ。

星九つ、名前に君たちの浮かべた涙で光り輝いていた瞳。ああ、子供たちよ。小さな星たちよ。風であり、ロウソクであり、ただ涙だけ。九つの小さな星たちよ。君たちが消された世界。十六回目の春だね。今日はこれでさようなら。

\*今回の金曜コラムは、3月27日(水)スポーツ改革フォーラムで主催した<天安小学校サッカー部合宿所火災の犠牲者追悼式と全国学生体育祭典実行案>セミナーに掲載された記事です。

(訳注:2003年3月26日、サッカー部合宿所で火災が発生し、寝ていた選手9人が死亡した事件。この事件を契機に小学校運動部は合宿が禁止され、中・高等学校は一定期間に限定されるようになった。)

## 【 李ガンインは合宿しなかった...合宿は本当に必要か？ 】

「午前 12 時半までの授業をし、お昼を食べて再び 3 時から 5 時まで授業があり、家でおやつを食べ、6 時に訓練場に行って、9 時に家に帰りました。」

1 日 3 時間程度のチームトレーニング。どこかのサッカー同好人の話ではありません。サッカーのためだけにスペイン留学に行った李ガンイン（バレンシア）の日課でした。しかし訓練は効率的で強度は高いものでした。実戦感覚は週末の試合を通して引き上げられました。李ガンインは「バレンシアクラブでは子供たちが寮にいて、家からそれぞれの学校に通った。」と当時を回想しました。

合宿を通じて訓練時間を増やすことよりも訓練の質を高めることが重要だという言葉は、最近韓国の指導者の間でも出てきています。

### ●韓国でもすでに減少傾向...突然の廃止は困難

ショートトラック・シム・ソクヒのミートゥー暴露の後、ト・ジョンファン文化体育部長官が合宿所の廃止を宣言すると、競技人はスポーツ門外漢の暴挙と批判しました。合宿存置論者にとっては良い餌になりました。ト長官の言葉は、合宿がすぐ無くなってスポーツが減びるという恐怖の雰囲気造成に、根拠として使われました。

慶北オサン高校サッカー部ジャン・スリョン監督は「問題が発生した部分の改善ではなく、全体を全て取り除くことは誤った政策です。最低限、政策で最も重要なのは現場の声なのに全く反映されなかった。討論会もなかったし公論化の機会さえなかった。」と言いました。すぐに合宿を全て無くすには無理がありません。地方高校サッカー部の場合、60~80%が他の地域から来た学生です。合宿所を廃止したら学生選手の経済的負担が大きすぎます。また現在の合宿は、大学進学のための大会入賞を大きな目標とします。すぐさま、大学進学を夢見ている選手と親たちを改革の犠牲にしてはならないという声もあります。

現場で会ったある学校運動部の指導者は、「合宿をするからソン・フンミン（訳注：韓国代表チーム主将）、リュ・ヒョンジン（訳注：大リーグ投手）が作られるのではない。ただし進学のための大会成績を収めるには助けになる。」と言いました。段階的で選択肢がある廃止が必要です。すでに 2016 年 619 個であった小・中・高合宿所は 2019 年に 369 個に減りました。

南サンウ韓国スポーツ政策科学院研究員は「合宿所を一般学生と一緒に生活する寮に転換する方法もある。地方校舎のように政府によって特定地域の学生選手のための寄宿施設を建てて共同管理する方法もある。」と言いました。寮への転換もコストの問題などで簡単ではありません。しかし、長期的に教育部や自治体の支援を受けてでも、必要な方法です。

合宿廃止による短期的な競技力弱体化も問題です。南研究員は優秀有望株の学生選手たちは短期間招集して国家代表級訓練システムで集中合宿トレーニングを進行する方法を提案しました。

### ●天安小火災事件 16 周年、アン・ミンソク議員「長期的にはスポーツクラブが答え」

去る 27 日、国会議員会館で 2003 年に 9 人の命を奪った天安小サッカー部合宿所の火災事件 16 周年追悼式が開かれました。アン・ミンソク国会文化体育観光委員会委員長は、「天安小事件によって国会議員になる決意をしました。何のために、誰のために、子供たちを非人格的な環境にとじこめてスポーツをさせたのか考えなければなりません」と言いました。

合宿所については「合宿所は学校内の島で人権の死角地帯だ。合宿のための費用運用も透明ではない。」と

指摘しました。競技力の弱体化への懸念についてアン議員は「中学校から合宿所を廃止し、学校のスポーツクラブを拡大しなければならない。そうしてこそ多くの学生が楽しく運動に触れることができます。その後、才能を見せた学生が専門選手の道を選ぶなら、むしろスポーツ人材の裾野を広げることができる。」と力説しました。アン議員はいかなる理由を問わず、合宿所は無くさなければならないと強調しました。物理的な暴力がなくても若い学生十数人を部屋に閉じ込めておいて、24時間指導者が統制すること自体が非人格的だという指摘があります。

### ●日本高校野球の事例は？...合宿、本当に学生管理に不可欠なのか？

学校スポーツの天国である日本を見てみましょう。2010年代の日本高校野球甲子園大会最強の学校は、大阪桐蔭高校です。大阪桐蔭高は2012年、2014年、2018年の夏の甲子園優勝を獲得しました。さらに、2018年の優勝で春と夏の大会制覇を2回記録した史上初の学校になりました。この学校が掲げる秘訣の一つはまさに寮（私たちの合宿）システムです。大阪桐蔭高野球部には外出禁止、恋愛禁止、スマートフォン禁止そして、月に一度コンビニ外出という厳格な規律があります。この事例は合宿存置論に力を加えてくれます。

しかし、大阪の履正社高校のように名門私立高校のなかで異例的に野球部寮がない学校もあります。履正社高校は過去2014年、2017年の春の選抜戦大会で準優勝を獲得しました。大阪桐蔭高は2018年、日本プロ野球のドラフトで1位を2人も輩出しました（藤原恭大、根尾昂）。履正社高も2016年（寺島成輝）、2017年（安田尚憲）ドラフト1位を排出しました。常時的な合宿施設を学校に置くことが、学生の管理に不可欠ではないということです。

## 02 ハンギョレ 2019. 25

### 【人権委スポーツ特別調査団一ヶ月、昨年一年より「陳情」4倍以上に増加】

国家人権委員会（人権委）「スポーツ人権特別調査団（特調団）」が発足して一ヶ月目の25日、人権委はスポーツ界の人権侵害に関する陳情が昨年一年より4倍以上多く受けたと発表した。体育界の暴力・性暴力事件を根絶するために発足した特調団は代表電話・カカオトーク・テレグラム（訳注：ドイツの会社が開発／運営するインターネットモバイルメッセージング）などを通じてスポーツ界人権侵害申告を受けている。

特調団で受け付けされた陳情の種類は暴力・性暴力・暴言など多様だった。25日に特調団が公開した陳情の種類は △選手団や学校長の暴力・性暴力行為放置による被害 △暴力行為前歴指導者の再任用 △指導者の過度なトレーニング要求に起因する負傷 △暴力行使指導の問題提起後の大会出場不利益 △問題提起に対する連盟の不適切な対応などである。特調団は、被害者の種類も大学・社会人運動部などの成人だけでなく、子供・青少年選手など幅広くなったと発表した。また受け付けられた事件は、すべて特調団で現在調査中だと付け加えた。

陳情受付経路は代表電話（1331）を介しての受付が最も多かった。特調団は代表電話（1331）・カカオトーク（「スポーツ人権」で検索）・テレグラム（ID：hrsports）・電子メール（sports@nhrc.go.kr）などを介して陳情を受けている。特調団関係者は「この中で代表電話による申告受付が最も活発に行われている」とし「特に選手たちの親が電話を介して陳情をしている場合が多く、若い学生の場合カカオトークを介して直接被害事実を知らせることもある」と述べた。

特調団は関連機関に申告受理された内容についても調査に乗り出す予定だ。特調団は文化体育観光部・教育部・大韓体育会などの関連機関との協力を通じて、スポーツ界で発生した暴力・性暴力などの人権侵害事案をすべて特別調査団で調査することにすると発表した。これまでスポーツ界の暴力・性暴力の問題を報告する窓口が多様で、むしろ被害者の混乱を招くという問題が発生したという指摘によるものだ。特調団関係者は「すでに関係省庁の公務員を特調団に派遣して共同作業している」とし「特に文体部スポーツ革新委員会と業務が重ならないように、お互いの仕事について共有している」と述べた。

特調団は被害者の救済にも積極的に乗り出す計画だ。特調団は被害者に専門的な心理の回復と法律相談を支援し、特に性暴力の被害者には、女性家族部と協議して、女性の家族の被害支援サービスにも対応できるように連携していく予定だと明らかにした。特調団関係者は「一件の陳情は十件の類似被害が存在することを意味する」とし「多くの被害者が調査団を信頼し、見つけることができるように広報と支援システムを拡充していこう」と付け加えた。

先到人権委は先月 25 日、ソウル中区人権委庁舎 10 階で「スポーツ人権特別調査団」の発足式を開いて、スポーツ分野の人権侵害の被害申告の活性化と権利救済に積極的に乗り出すと発表した。

### 03 世界日報 2019. 3. 26

#### 【 チャン・ヒヨンスなど芸術・体育兵役特例 8 人捜査依頼 】

政府が、ボランティア活動の時間を虚偽に提出したサッカー国家代表出身のチャン・ヒヨンスなど、芸術・体育兵役特例要員 8 人の現行法違反で捜査を依頼することにした。

24 日、国会国防委員会所属の金ビョンギ共に民主党議員が文化体育観光部と兵務庁から提出された「芸術要員編入全数調査」と「芸術・体育要員ボランティア活動不正行為処理関連改良案」によると、文体部と兵務庁は芸術・体育要員 84 人のうち 47 人のボランティア活動の時間に問題があるという事実を確認した。このうち 18 人は虚偽の実績を提出したことが分かった。文体部はこれら 8 人の刑事捜査を依頼することにした。8 人はボランティア活動虚偽で提出した時間が 24 時間以上である要員だ。国際大会で一定の成績以上を出した芸術・体育人は軍サービスの代わりに基礎軍事訓練を受けた後、2 年 10 カ月以内に特技活用ボランティア活動 544 時間が必要だが、昨年 の 国政監査でチャン・ヒヨンスなど一部のボランティア活動の時間を操作した事実が知られて論議が起こった。チャン・ヒヨンスは国家代表から永久除名された。政府はまた、芸術・体育要員サービス制度を全面的に見直すことにした。芸術・体育要員サービス制度を全面廃止する案と、存置を前提とした制度改善案が並行議論されている。金議員は「一部では、現行の芸術・体育要員サービス制度は維持した状態でボランティア活動の管理のみ強化しようと主張するが、すでに制度全般に無数の問題が明らかになっただけに、一般将兵と国民が納得できるように制度を全面改善しなければならない」と指摘した。

バレリーノ兵役不正疑惑を受けた国立バレエ団のジョン某団員については、文体部と兵務庁間の立場が異なり、今後議論が続くものと思われる。文体部は「賞の価値は賞金の額のみに基づいて評価されるのではなく、この賞はシニア 1 等賞と同等である」というヘルシンキ国際バレエコンクール主催側の回答をもとに問題がないという結論を下したと伝えられた。しかし兵務庁は通常の授賞式で受け取った賞ではない上に、シニア競争部門で受賞したことが明らかではないので、ジョン某の芸術・体育要員編入取り消しを推

進すると伝えられた。

## INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 슌죤죤빌 305 号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jrlfep@gmail.com